

★品切れにてご迷惑をおかけしました。ご要望にお応えして再版！

平成28年10月再版

『わかる四柱推命』

すぐできる「強弱・喜忌の求め方」

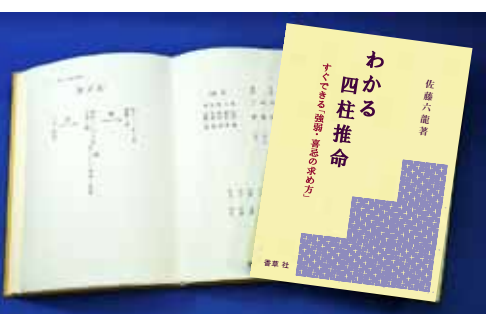
佐藤六龍 著

A5判・並製

子平術はむつかしくない！

手順をふめば喜忌も容易に！

☆本書を読めば、教室で直接講義を受けたような満足感が得られます。



四柱の強弱・格局・喜忌の取り方とその手順を、家庭教師が子供に教えるように、手取り足取り、やさしく説いてあります。本書のとおりに行っていけば、誰でも、強弱・格局・喜忌がとれるようになります。

◆最初に、「強弱」を求める手順・内格外格の分け方が、わかりやすく書いてあります。

◆次に、実例をあげて、一例一例、最初に述べた手順をふんで、強弱から格局・喜忌・命式判断まで、丁寧に説いてあります。

◆実例の〈命式審事〉の随所に、格局や喜忌を取る時に、重要な原則とも言えるコツのようなものが書かれています。これを応用すると、格局を取るのに迷いやすい命式でも簡単に取れるようになります。

◆特に重要な事項、覚えておきたい原則などを、目立つように太字にしました。たしか前にこんな原則が書いてあったな—と、確認したいようなときに非常に便利です。

◆四柱推命の用語が整理してあります。—透干・通根・月令・助・生・洩・分・剋など。

【ご注意】

*本書の前に、必ず、四柱推命の入門書『四柱推命活用秘儀』をお読みください。

『わかる四柱推命』 内容一部紹介

「子平術はむづかしくない！」

「子平推命」で人物のすべてを判断するということは、けっして難しいことではありません。ただ判断するための準備というか、順番というか、手順のようなものが非常に大切なのです。初心者はそれが完全にマスターできてないため、難解だ！ ややこしい！——ということになるのです。

「子平推命」で人物を推命するには、二つの手順をふまなければなりません。

まず、第一番が、四柱八字つまり命式を十分に分解し、子平術のいろいろな法則にのっとって究明することです。これを一般には「命式究明」とか「命式審事」とか言っています。私は「審事」と言ったり、書いたりしています。

次の二番目が「審事」によって得た結果から、「喜神・忌神」というものを求めます。これが一般に言う判断です。命理審査です。つまり、喜神によってその人物の一切の吉象を、忌神によって一切の凶象を、的確に判断するのです。

その判断、つまり命式審事の結果による喜忌によって、次の事がわかるのです。貴賤・吉凶・成敗・富貧・寿夭・閒忙・福禍のすべてです。そして一代の巡り来る運の吉凶がわかるのです。

「命式審事」

この命式では天干に火・土・木と三行出ています。月令五行は、亥月で壬水が月令五行に当たります。透干している三行のそれぞれの強弱を、干・根・月令の三者からおしはかるわけです。

この命式は地支の年・月の寅亥が合して無作用に、日・時の辰戌が沖して無作用になります。つまり四支すべてが無作用になるわけです。

注意する点は、月・日の干合です。己土と甲木の干合は土性干合です。もし月令が土性でしたら土化（変化）します。この命は月令が壬水ですから土化はしません。そうしますと、あとは倍加干合か無作用かのどちらかです。思い出してください。干合には「変化・倍加・無作用」の三種あるということです。

日主と干合するのは、変化干合でない場合は必ず倍加干合です。倍加干合の場合は、干合する干、つまり日主以外の干が倍加、つまり月干が倍加（二つある）するという意です。さて地支がすべて無作用になっているのですから、天干にはすべて根がないことになり、